

環境中の生体高分子 (DNA・RNA・タンパク)を活用 した生態学・水産学の研究

動植物が生活する水中などの環境には、彼らがどのようなことを感じ取り、どのように過ごしているのか、その生き様の端々を知ることができる様々な化学物質（環境DNAやRNA・タンパクなど）がこぼれ落ちていきます。私は、それら化学物質を手がかりにして、野外調査や飼育実験などを通して、対象生物の生息状況や生理・成育状態などの解明を進めています。得られた研究成果については、希少種の保全、外来生物の侵入防止、持続可能な水産資源の管理、固有生物をシンボルにした地域の活性化などに役立てることを目指しています。

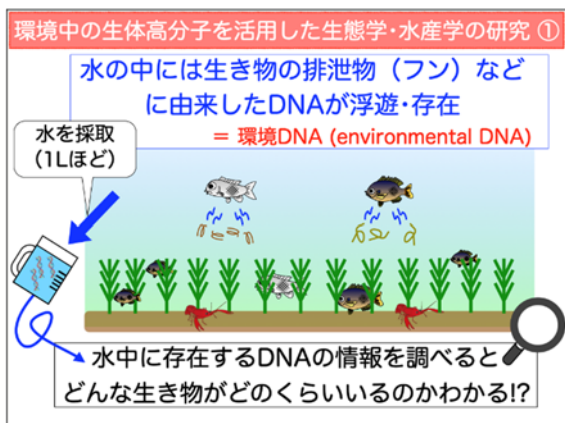


島根大学 生物資源科学部

情報提供 高原 輝彦 准教授

研究シーズのPRポイント

大きな可能性を秘めた環境DNAは産学官連携で様々な分野での社会実装が期待できます！



技術コミュニティラボとは？

研究者と参加者が未来の技術や研究について自由な雰囲気意見交換をすることにより交流を深める少人数・対話型の情報交換会です。

日時 2023年1月20日(金)13:30-15:30 (発表1時間、参加者自己紹介・意見交換1時間)

会場 島根大学地域未来協創本部 2階研修室 (松江市北陵町2 ソフトビジネスパークしまね)
<https://goo.gl/maps/HS4gLmPrDuvQBVfy5> ※駐車場有り

対象 企業、自治体、研究機関、学生、支援機関 (先着10名様程度)

お申込 下記webフォームにてお申込み下さい。
<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/lab20230120>
おそれいりますが2023年1月17日(火)までにお申込み下さい。
申込み者数が定員に達した場合は、その時点で受付をストップします。

